

1 学習目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活の中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。
- 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習内容

学期	単元名（主な学習内容）
1 学期	言葉に出会うために 野原はうたう（詩） 1 学びをひらく ・ はじまりの風（物語） ・ 言葉① ・ 漢字① ・ 話の構成を工夫しよう
	2 新しい視点で ・ ダイコンは大きな根？（説明文） ・ ちょっと立ち止まって（説明文） ・ 言葉② ・ 情報を整理して説明しよう
	硬筆
	3 言葉に立ち止まる ・ 空の詩 三編（詩・解説文） ・ 比喩で広がる言葉の世界（説明文） ・ 言葉③ ・ 文法への扉① ・ 語彙を豊かに
	情報×SDGs
	いつも本はそばに
2 学期	4 心の動き ・ 大人になれなかった弟たちに……（物語） ・ 星の花が降るころに（小説） ・ 漢字② ・ 言葉④ ・ 聞き上手になろう
	5 筋道を立てて ・ 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（記録） ・ 大阿蘇（詩） ・ 根拠を明確にして書こう ・ 文法への扉②
	6 いにしえの心にふれる ・ いろは歌（古文） ・ 古典の世界（古典・解説文） ・ 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から― ・ 今に生きる言葉（漢文）
	7 価値を見いだす ・ 「不便」の価値を見つめ直す（意見） ・ 話題や展開を捉えて話し合おう
	書き初め
	いつも本はそばに
3 学期	8 自分を見つめる ・ 少年の日の思い出（小説） ・ 二十歳になった日（随筆） ・ 文法への扉③ ・ 漢字③ ・ 構成や描写を工夫して書こう ・ ぼくがここに（詩）

3 評価の観点と方法（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）

	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に取り組む態度
評価の方法	・ 定期テスト ・ 漢字スキル テスト ・ 硬筆、書きぞめの作品 ・ 課題の取り組み内容	・ 発表やスピーチの内容や理解 ・ 聞き取りテスト ・ 定期テスト ・ 作文 ・ ノートの記述内容	・ 授業の取り組みの様子 ・ 課題への取り組みの様子や提出状況

1 学習目標

- 社会で生活するために必要な国語の知識や技能を身に着けよう。
- 文章を読み、筋道を立てて考える力や共感したり想像したりする力を身に着けよう。
- 伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めよう。
- 言葉の価値を認識し、読書や言語学習を大切にして、思いや考えを伝えようとする態度を身に着けよう。

2 学習内容

学期	単元名（主な学習内容）		
1 学期	見えないだけ（詩）		
	1 広がる学びへ		
	・アイスプラネット（小説）		
	・枕草子（古文）		
	・文法への扉①		
	2 多様な視点から		
2 学期	・クマゼミ増加の原因を探る（報告）		
	・熟語の構成		
	硬筆		
	3 言葉と向き合う		
	・短歌に親しむ（短歌・解説）		
	・短歌を味わう（短歌）		
3 学期	・言葉の力（随筆）		
	・言葉①		
	情報×SDGs		
	いつも本はそばに		
	4 人間のきずな		
	・ヒューマノイド（小説）		
4 学期	・字のない葉書（随筆）		
	・聞き上手になろう		
	・言葉② ・漢字②		
	5 論理を捉えて		
	・モアイは語る―地球の未来（論説）		
	・月夜の浜辺（詩）		
5 学期	6 いにしへの心を訪ねる		
	・平家物語（古文・音読）		
	・扇の的―「平家物語」から（古文）		
	・仁和寺にある法師―「徒然草」から（古文）		
	・漢詩の風景（漢詩・解説）		
	7 価値を語る		
6 学期	・君は「最後の晩餐」を知っているか（評論）		
	・文法への扉②		
	書き初め		
	いつも本はそばに		
	8 表現を見つめる		
	・走れメロス（小説）		
7 学期	・文法への扉③ ・言葉③ ・漢字③		
	・鍵（詩）		
	3 評価の観点と方法（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）		
	① 知識・技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に取り組む態度
	評価の方法	・定期テスト ・漢字スキル テスト ・硬筆、書きぞめの作品 ・課題の取り組み内容	・発表やスピーチの内容や理解 ・聞き取りテスト ・定期テスト ・作文 ・ノートの記述内容
			・授業の取り組みの様子 ・課題への取り組みの様子や提出状況

令和7年度

学習案内 第3学年 【国語】

1 学習目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活の中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習内容

学期		単元名（主な学習内容）	
1 学期	1 深まる学びへ ・握手（小説） ・学びて時に之を習ふ（漢文） ・漢字①「熟語の読み方」 ・文法への扉① ・言葉①		
	2 視野を広げて ・作られた「物語」を超えて（論説） ・熟語の読み方		
	硬筆		
	3 言葉とともに ・俳句の可能性（俳句） ・俳句を味わう（俳句） ・言葉の釣り糸を垂らす（随筆） ・言語②		
	情報×SDGs		
いつも本はそばに			
2 学期	4 状況の中で ・挨拶—原爆の写真によせて（詩） ・故郷（小説） ・聞き上手になろう ・言葉③ ・漢字②		
	5 自らの考えを ・複数の意見を読んで、考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う（論説） ・考えを効果的に伝えよう ・初恋（詩） ・文法への扉②		
	6 いにしえの心を受け継ぐ ・古今和歌集 仮名序（古文） ・君待つと一万葉・古今・新古今（古文） ・夏草—「おくのほそ道」から（古文）		
	書き初め		
3 学期	7 価値を生み出す ・それでも、言葉を（論説） ・漢字③ ・合意形成に向けて話し合おう		
	いつも本はそばに		
	8 未来へ向かって ・温かいスープ（随筆） ・アラスカとの出会い（随筆） ・律儀な桜（随筆） ・わたしを束ねないで（詩） ・三年間の学びを振り返ろう		
3 評価の観点と方法 （①～⑤の観点を総合的に判断して評価を出します。）			
	① 知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に取り組む態度
評価 の 方法	・定期テスト ・漢字スキル テスト ・硬筆、書きぞめの作品 ・課題の取り組み内容	・発表やスピーチの内容や理解 ・聞き取りテスト ・定期テスト ・作文 ・ノートの記述内容	・授業の取り組みの様子 ・課題への取り組みの様子や提出状況

